



九月 (小) 長月 婁宿

九月八日白露の節より
月命己酉四緑木星の月
暗剣殺東南方

旧 八月大
九月小

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	満潮	干潮
1日	木	ひのと	み	一白	二百十日、防災の日、関東大震災記念日、 富山八尾風の盆(3日迄) 旧八月大	六	先勝	おさん	斗	月とく	5.13 18.09	9.46 20.46	7.40 19.38
2日	金	つちのえ	ま	九紫		七	友引	ひらく	牛	神よし	5.13 18.08	10.53 21.20	8.32 20.04
3日	土	つちのえ	ひ	八白		八	先負	とづ	女	神よし	5.14 18.06	12.03 22.00	9.38 20.34
4日	日	かのを	さ	七赤	●上弦三時〇八分、敦賀氣比神宮祭、 京都北野天満宮例祭、庚申	九	佛滅	たつ	虚	大みう	5.15 18.05	13.13 22.49	10.34 19.38
5日	月	かのを	と	六白	不成就日	十	大安	のぞく	危	十し	5.16 18.04	14.21 23.47	11.11 20.34
6日	火	みづのえ	い	五黄		十一	赤口	みつ	室	母倉	5.16 18.02	15.23 —	12.11 20.34
7日	水	みづのえ	と	四緑	ハせん終り、三隣亡	十二	先勝	たい	ら	壁	5.17 18.01	16.17 0.55	13.16 21.11
8日	木	きのお	ね	三碧	白露〇時三二分、太田呑竜開山忌、甲子	十三	友引	たい	ら	奎	5.18 17.59	17.02 2.09	14.16 21.08
9日	金	きのお	う	二黒	重陽、多賀大社九月古例祭、救急の日	十四	先負	さん	だ	妻	5.19 17.58	18.11 3.24	15.17 22.05
10日	土	ひのえ	と	一白	〇望一八時五九分、十五夜、三隣亡	十五	佛滅	と	る	胃	5.19 17.56	19.08 4.37	16.37 23.19
11日	日	ひのえ	と	九紫	二百二十日、一粒万倍日、 東京芝大神宮しやうが市(21日迄)	十六	大安	やぶ	る	昂	5.20 17.55	20.04 8.00	17.53 4.58
12日	月	つちのえ	た	八白	福岡管崎宮放生会(18日迄)	十七	赤口	あや	ぶ	畢	5.21 17.53	21.08 6.55	18.15 5.38
13日	火	つちのえ	と	七赤	世界の法の日、己巳、不成就日	十八	先勝	なる	背	十し	5.22 17.52	22.04 11.10	19.08 6.55
14日	水	かのを	う	六白	大つち	十九	友引	おさん	参	月とく	5.22 17.50	23.04 12.11	20.04 7.39

残暑はまだまだ厳しいが、それでも月半ばを過ぎると朝夕涼気を感じよう。この季節、夏の疲れが表面化したり、暑さのために消化器系統が弱つていたり、とかく健康を害しやすい。健康管理に十分に留意しないと、思わぬ重病になることがある。

また立春から数えた「二百十日」や「二百二十日」があるが、これは農作(稲の開花期)と台風の関係を表わいて、注意を喚起するようにしたのが国独特の呼称である。

●九月九日は五節句の最後、「重陽(九といふ数字を陽数とした陰陽術による)の節句」という。またの名を「菊の節句」と呼ぶように、この日は酒に菊花をひたして飲み、健康長寿を祝うならわしも伝えられている。

●この月から秋の結婚シーズンが始まる。挙式に続く新婚旅行にも快適な気候である。ただ、それでな

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	満潮	干潮
15日	木	かのを	ひ	五黄	老人の日、老人週間(21日迄)、 京都石清水八幡宮祭	廿	先負	ひらく	井	●	5.23 17.49	20.36 10.08	7.39 19.14
16日	金	みづのえ	る	四緑	鎌倉鶴岡八幡宮やぶさめ、一粒万倍日	廿一	佛滅	とづ	鬼	神よし	5.24 17.48	21.12 11.10	8.25 19.34
17日	土	みづのえ	と	三碧	岸和田だんじり祭	廿二	大安	たつ	柳	大みう	5.25 17.46	22.04 12.11	9.22 19.55
18日	日	きのお	い	二黒	●下弦六時五二分	廿三	赤口	のぞく	星	母倉	5.25 17.45	23.04 12.11	10.52 20.18
19日	月	きのお	と	一白	●敬老の日、岩手水沢駒形祭、子規忌	廿四	先勝	みつ	張	月とく	5.26 17.43	24.00 13.08	11.56 20.46
20日	火	ひのえ	ね	九紫	彼岸入り、空の日、動物愛護週間(26日迄)、 神奈川寒川神社例祭	廿五	友引	たい	ら	翼	5.27 17.42	25.00 14.07	12.53 21.57
21日	水	ひのえ	と	八白	秋の全国交通安全運動(30日迄)、 不成就日	廿六	先負	さん	だ	軫	5.28 17.40	26.00 15.07	13.53 22.55
22日	木	つちのえ	と	七赤	杜日、小つち、三隣亡	廿七	佛滅	と	る	角	5.28 17.39	27.00 16.03	14.57 23.52
23日	金	つちのえ	と	六白	●秋分の日、秋分一〇時〇四分、 彼岸中日、川柳忌、一粒万倍日	廿八	大安	やぶ	る	亢	5.29 17.37	28.00 17.02	15.47 24.41
24日	土	かのを	た	五黄	結核予防週間	廿九	赤口	あや	ぶ	氏	5.30 17.36	29.00 18.00	16.41 25.36
25日	日	かのを	と	四緑		三十	先勝	なる	房	十し	5.31 17.34	30.00 19.00	17.36 26.32
26日	月	みづのえ	ま	三碧	●朔六時五五分、彼岸明け、 和歌山日前・国懸祭、不成就日 旧九月小	朔	先負	おさん	心	大みう	5.32 17.33	31.00 20.00	18.22 27.28
27日	火	みづのえ	と	二黒	小田原道了尊大祭	二	佛滅	ひらく	尾	●	5.32 17.31	32.00 21.00	19.18 28.24
28日	水	きのお	さ	一白	十方ぐれ入り、一粒万倍日	三	大安	とづ	箕	神よし	5.33 17.30	33.00 22.00	20.04 29.20
29日	木	きのお	と	九紫	曹洞宗兩祖忌	四	赤口	たつ	斗	月とく	5.34 17.29	34.00 23.00	20.90 30.10
30日	金	ひのえ	い	八白		五	先勝	のぞく	牛	母倉	5.35 17.27	35.00 24.00	21.76 30.96

※昼夜の長さがほとんど等しくなるのは、日本では春分から三日間、秋分から三日後である。

●「敬老の日」九月第三月曜日(平成十五年施行)。社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日。また十五日から二十一日までは老人週間(平成十四年施行)である。

●「秋分の日」秋分一〇時〇四分、彼岸中日、川柳忌、一粒万倍日。

●「上弦」上弦三時〇八分、敦賀氣比神宮祭、京都北野天満宮例祭、庚申。

●「下弦」下弦六時五二分。

●「二百十日」や「二百二十日」があるが、これは農作(稲の開花期)と台風の関係を表わいて、注意を喚起するようにしたのが国独特の呼称である。

●九月九日は五節句の最後、「重陽(九といふ数字を陽数とした陰陽術による)の節句」という。またの名を「菊の節句」と呼ぶように、この日は酒に菊花をひたして飲み、健康長寿を祝うならわしも伝えられている。

●この月から秋の結婚シーズンが始まる。挙式に続く新婚旅行にも快適な気候である。ただ、それでな